

しんよこはまこうえんひがし
新横浜公園東ループ橋

新横浜公園東ループ橋は神奈川県横浜市港北区にある新横浜公園と現在付替え中の横浜市道新横浜元石川線とを接続する4径間連続PC箱桁橋です。既に施工された西ループ橋と同様に小さな平面曲線(R=33.0m)を有し、軟弱な地盤条件からプレキャストセグメントを支保工上で架設する工法が採用されています。

なお、新横浜公園は鶴見川の多目的遊水地を兼ねた横浜市最大の運動公園で、公園内には2002年ワールドカップの決勝会場となった横浜国際総合競技場があります。

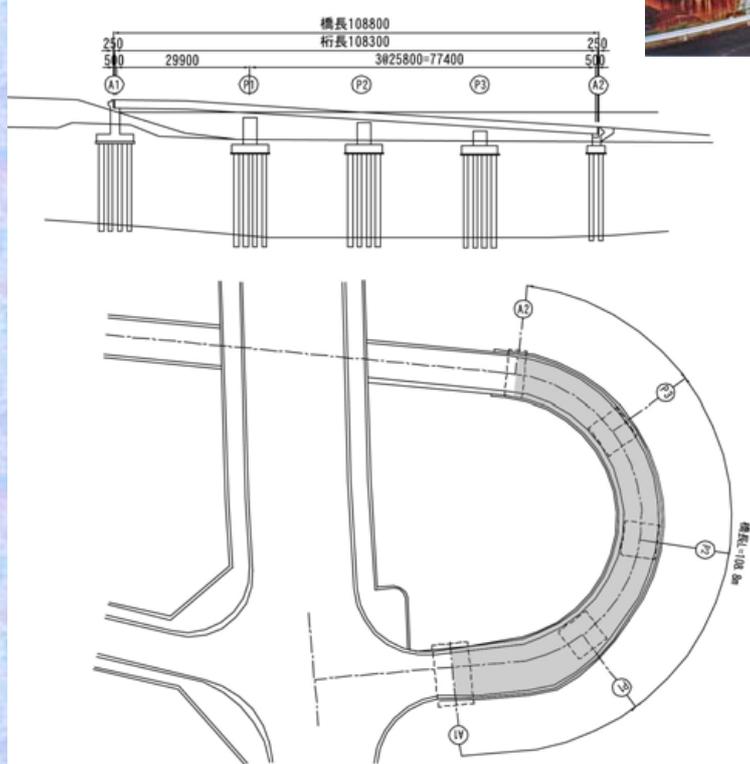


一般図

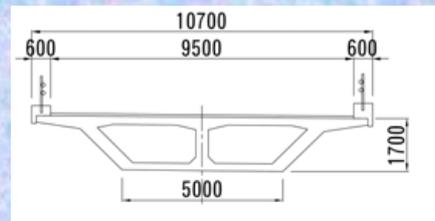
側面図

平面図

橋梁諸元



工事名：新横浜公園東側進入橋りょう（仮称）上部工工事
 発注者：横浜市緑政局
 設計者：三井共同建設コンサルタント㈱
 位置：神奈川県横浜市港北区小机町
 道路規格：第4種第3級
 形式：4径間連続PC箱桁橋
 荷重：A活荷重
 橋長：108.8m (29.9m + 3@25.8m)
 総幅員：12.02m ~ 10.7m (有効幅員 10.82m ~ 9.5m)
 架設工法：プレキャストセグメント固定支保工架設工法
 PC鋼材：主方向 SWPR7B 12S15.2 (フレシネー工法)
 床版横締め SWPR19 1S21.8 (SM工法)



断面図

設計概要

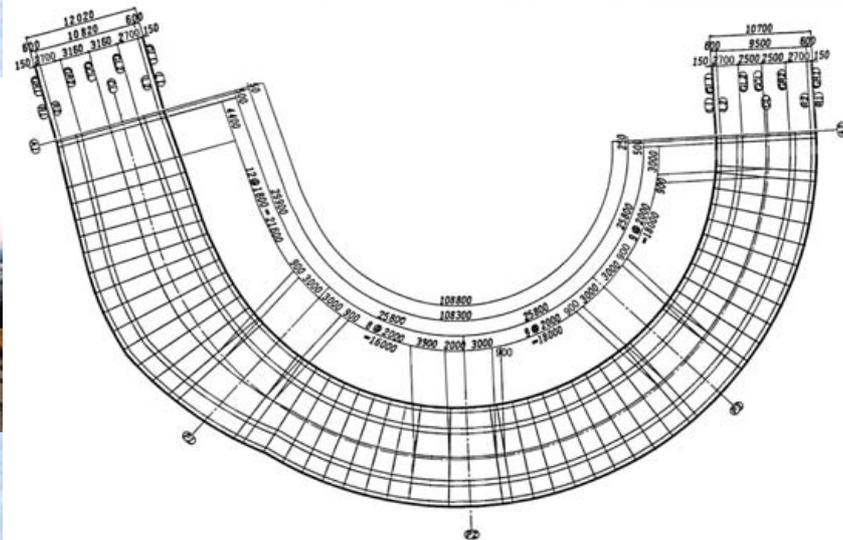
- 1) 本橋の架橋地点は、非常に軟弱な地盤であり場所打ち固定支保工で施工した場合には支保工基礎が過大になり、不等沈下などによる影響も懸念されるため、プレキャストセグメントを支保工上で架設する方法が採用されました。
- 2) プレキャストセグメントのブロック割りは、プレキャストセグメントを工場で作製し一般道を運搬することを考慮して決定されています。
- 3) 平面線形が非常に小さい(R=33.0m)ため、中間支点上は1点沓とし構造センターから外側に支承をずらすことにより主桁に生じるねじりモーメントを低減させています。
- 4) 主方向P C鋼材の配置は、施工性を考慮し2径間毎で接続する方法が採用されています。



支保工架設全景



プレキャストセグメント架設



セグメント分割平面図

工程表

項目	平成13年								平成14年		
	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	
準備工	■										
セグメント製作工		■			■						
セグメント架設工			■								
橋面工									■		
跡片付										■	